



- 「きらめき対談」 愛媛万葉苑の魅力
- 文化協会インフォメーション
- 松山の歴史（その二）
- 子規交交 第二回

愛媛万葉苑の魅力

-花を訪ねて万葉のロマンスを-

ゲスト：愛媛万葉苑常任理事 藤原 茂さん

コーディネーター：太田 和博さん (本誌編集委員)

きらめき対談

愛媛万葉苑の歴史と魅力について、万葉人が愛し歌に詠んだ草花を題材に愛媛万葉苑常任理事 藤原茂さんと本誌編集委員 太田和博さんに語っていただきました。



本誌編集委員
太田 和博さん

太田 今日は、愛媛万葉苑をより多くの人に知ってもらいたいと思います、30年以上も万葉苑のお世話をされている愛媛万葉苑の常任理事・藤原茂さんにお話を伺います。自己紹介を兼ねて愛媛万葉苑との関りについてお話していただけますか。

藤原 私は復員して戦後21年11月京都府の丹後から松山へきました。早々に旧年12月21日、75周年を迎えた昭和南海地震を経験しました。久松家の関係で松山にご縁がありました。昭和23年から県庁に勤務し、昭和57年に定年退職。その後、就任していた済生会を平成7年退任後、愛媛万葉苑のお世話をしてきました。愛媛万葉苑との関りは、たまたま教育委員会に勤務していた関係から、当時南海放送の会長だった門田圭三さん(元県教育委員長・当時愛媛万葉苑保存会顧問)に誘われました。

太田 愛媛万葉苑は創設されてから54年も

経つそうですね。

藤原 万葉苑になる前に少し経過があります。戦中戦後を通じて多くの戦没者の霊が護国神社に合祀されました。当時の土居宮司がそれらのご神霊をお慰めするために、八木繁一先生のご協力を得て、県下二四〇市町村から郷土を代表する三二〇種の植物を集められ、昭和28年に「郷土植物園」として発足しております。昭和43年から「郷土植物園」に「愛媛万葉苑」が併設されました。したがって愛媛万葉苑は愛媛の鎮守の杜であると同時に鎮魂の杜です。



▲愛媛万葉苑入口

太田 愛媛万葉苑には、昭和42年11月23日建立の「にぎたつ歌碑」がありますね。
藤原 そうです。愛媛師友会の竹葉秀雄会長が発起で、明治百年記念事業として「にぎたつ歌碑」が建立されました。この建碑を機に愛媛万葉苑の構想が生まれ、県下小中学生の1円募金などの協力と、八木先生のご尽力で一五〇種近い万葉植物が集まり、昭和43年5月5日「愛媛万葉苑」として開設されました。

太田 立派な歌碑です。平安時代の書の三蹟・藤原行成の書だそうですね。
藤原 万葉集の中でも名歌と言われる額田王の歌碑で、元暦校本から移したものです。側にある副碑がまた詳しく珍しいですね。村上寂山先生の書ですが、共に石手の名工大谷伊三郎さんの刻字です。全国の万葉歌碑の中でも有名で、よく拓本をとりに来られます。

太田 その歌を紹介してください。
藤原 「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな

額田王(巻一・八)」



▲「にぎたつ歌碑」の前で
太田さん(左)と藤原さん(右)



愛媛万葉苑常任理事
藤原 茂さん

詠み人の額田王は万葉第1期の代表的歌人です。
齊明天皇が百濟救援のため九州に行幸の途中伊予の石湯に滞在された時、出港に当たって額田王が熟田津で詠まれた歌です。ただ熟田津はどこかの定説は難しく、従ってこゝを熟田津としての建碑ではありません。
太田 道後に、今から約一三〇〇年前の西暦七二三年に山部赤人が訪れているようです。万葉集に、山部赤人の「伊予の温泉褒め歌」があります。藤原さんの大好きな歌だそうですが、ご紹介いただけませんか。



▲「にぎたつ歌碑」の副碑

藤原 神の湯、男性浴室の湯釜に刻まれている山部赤人の長歌ですね。実は山部の姓は伊予国久米郡の久米部小磯が「山部」姓を賜ったことに由来しているという説が、古事記や日本書紀にあると言います。私は大好きですが、松山にとっても大切な歌です。ともかく伊予の湯やその歴史をこれほど端的に褒めた歌は珍しいです。

（山部宿禰赤人至伊予温泉作歌首並短歌）
皇神祖之 神乃御言及敷座 国之尽
湯者霜 左波爾雖在 島山之宜 国跡
極此疑 伊予 能高嶺乃 射狭庭乃
崗爾立之而 歌思 穉思 為師
三湯之上乃 樹村乎見者 臣 木毛
生繼爾家里 鳴鳥之首毛不更 退代爾
神左備將往 行幸処 （卷二―三二）

（返歌）
百式紀乃 大宮人之
鮑田津爾 船乗將為 年之不知久

「歴代の天皇がお治めになつてきた日本の国のあちこちに温泉は沢山あるけれども、その中でも伊予の温泉は、瀬戸内の島々の美しい所にあるというので、昔、聖徳太子が来られ、険しい伊予の高嶺続きの伊佐庭の岡（現在の道後公園）にお立ちになつて、歌をお作りになり、碑文の文章をお考えになつたことがある。その温泉付近の森や木立ちを見ると、かつて舒明天皇が行幸された時の話に伝えられるモミの木は、生い継いで今も茂っている。また鶺鴒や此米鳥が鳴いていて、昔に変わらない景色である。このように、たびたび皇族が来ら

れたこの温泉は、このまま遠い後の世までも神々しい土地柄として栄えるであろう。」

返歌は昔々の大宮人の船出を回想したの短歌です。ところが残念なことに、この歌は道後温泉の湯釜に彫られただけで、松山や道後の街のどこにも見当たりません。先輩たちからの私たちへの宿題ですが、できれば放生園の辺りにでも欲しいものですね。

太田 万葉集には、山部赤人の「温泉歌」のよな長歌もあるんですね。万葉集について、少し説明をお願いできませんか。

藤原 万葉集は全巻で二〇巻、四五一六首大伴家持等の手でまとめられたと言われる日本最古の和歌集ですね。貴族から庶民までが、生きる喜びや悲しみも詠んでいるというのがいいですね。目に映る限りの植物たちに、苦しみからの安らぎを求めたのでしょうか、一六〇種余の植物が詠まれています。愛媛万葉苑では一五〇種の植物を採用しております。

太田 万葉集の結びの四五一六歌は、大伴家持の七五六年作の歌のようです。斎藤茂吉著『万葉秀歌』の最後に紹介されています。

藤原 そうですね。「あたらしき年の始めの初春の今日降る雪のいや重け吉事」（巻二 十・四五二六）と天平宝字三年正月因幡国庁で新年に降つた雪に瑞兆を託して「いや重け吉事」、益々吉事幸福が重なれよ、と詠んでいます。万葉苑での「ミニ講座」で毎年のお正月に紹介している歌です。

太田 万葉集と言えば、茂吉の『万葉秀歌』を思い出されるそうですね。

藤原 それで思い出すのは、数年前早朝NHKのテレビで聞いたのですが、ドナルドキーンさんが「戦時中日本兵の遺品処理をしていると度々背囊の中から『万葉秀歌』を発見して、日本兵の教養の高さを知り日本に興味を持った。私が日本に帰化した原因だった」と話されていました。私も作戦中から中国河北省保定の予備士官学校で終戦時まで持ち歩いていました。

太田 それでは、万葉びとのロマンに思いを馳せて、愛媛万葉苑の万葉植物の紹介をお願いいたします。

藤原 万葉集で植物を詠んだ歌は一七〇〇首余り、詠まれた植物は凡そ一六〇種と言われていますが、万葉苑では一五〇種選定しております。しかしその中には栽培不可能なマツタケや海草類もあり、苑では一四〇種類ほど集めていました。しかし、中には高山性のもや湿地性のもなど環境に厳しく、この限られた環境では栽培の難しいものもあり現在は一〇〇種類ほどになっております。しかし全国の万葉苑の中ではトップクラスではないでしょうか。



▲あべたちばな(クネンボ)の前で語る
藤原さん(左)と太田さん(右)



▲やまたづ(ニワトコ)

太田 伊予にゆかりの植物と万葉歌を紹介

していただけませんか。

藤原 まずはさきの山部赤人の詠んだ「伊予の湯褒め歌」にある「おみのき(モミ)」があります。よく知られているのは姫原ゆかりの衣通姫の歌の「やまたづ(ニワトコ)」があります。この歌には題詞があつて「古事記に曰く、軽皇子、軽大郎女に好けぬ。故にその太子は伊予の湯に流さえき。この時、衣通王恋慕ふに堪えず追ひ往きし時の歌に曰く君が行き日長くなりぬ山たづの迎へを行かむ待つには待たじ



▲むらさき(ムラサキ)

(巻一九〇)「あなたが行ってしまつてもうずいぶんになりました、もう待つてはいられません、帰つてこられないならば私が参ります。」とあります。

衣通姫は伊予の湯まで来られますが、姫原の池で心中されたと伝えられ、池の側に軽之神社がありその奥に一人を祀つた比翼塚と歌碑があります。付近には詠まれた「やまたづ(ニワトコ)」があり、またみかん県としては、あべたちほな(クネンボ)でしょうか。「吾妹子に逢はず久しも甘美者安倍橋の若生すまで」(巻十一・二七五〇)「あの娘に長いあいだ逢つていないです。おいしい安倍橋に若が生えてしまつて長いあいだの歌があります。よそにはない柑橘です。」

太田 愛媛万葉苑にある特色のある万葉植物の紹介をお願いします。

藤原 私が一番大事にしているのは「むらさき」です。小さな花で見栄えはありませんが、額田王の歌で「あかねさす紫野行き標野行き野守は見ずや君が袖振る」(巻一・二〇)「紫草が生えている野に行つたら、狼をする標野へ走つたりして、盛んに袖を振つて恋しさをしめそうとしている。野の番人は見ないでしようか。見られるといけないからお止め遊ばせ。」、大海人皇子の返した「紫草のほへる妹を憎くあらば人妻ゆゑに我恋ひめやも」(巻二・二二)「むらさき色の匂うような美しいあなたが憎いのであれば、人妻であるあなたを私が恋などしましようか。」が有名です。私は若いころ京都洛北の紫野に住んでいたこともあり特に身近に感じます。むらさきは栽培が難しく他の万葉植物園で栽培してい

る例は珍しいです。

太田 「むらさき」は、茂吉の『万葉秀歌』にも紹介され、万葉集中の傑作の一つのことです。六月頃咲くかれんな白い花ですが、根が紫の染料になるそうです。愛媛万葉苑では、ムラサキの花園を作ろうと取り組んでいるようです。楽しみます。他に、好きな万葉植物はありませんか。

藤原 沢山ありますが、ねつこぐさ(オキナグサ)、おもいぐさ(ナンバンキセル)、くれなゐ(ベニバナ)、かたかご(カタクリ)、あさがほ(キキョウ)、すみれ(スミレ)、ぬばたま(ヒオウギ)などは好きな花ですね。ナンバンキセルは砥部の池の土手で、ねつこぐさは阿蘇高原で、かたかごは徳島の山中で見つけたときは感動しましたね。変わった意味では秋の七草のふじばかまがあります。昨年は、愛媛万葉苑のふじばかまに「アサギマダラ」がやってきました。

太田 万葉植物は、草花だけではないようです。ね。

藤原 万葉歌人が詠んだ植物の特徴は、あまり観賞価値のないような樹木や草の類が多いことです。それは食品、薬用、衣服の材料や染料として重要なものを率直に歌っています。したがって、そこらの道端にある身近な雑草から、マツノスギ、サクラ、カツラなど大きな木まで多種多様にあります。

愛媛万葉苑にある「ちち(イチヨウ)の木」は樹齢不明ですが、樹高約30m、目通り直径1m余で、幹や枝から鍾乳石状の下垂物(俗に乳房)ができています。昔から母乳の出ない女性から「乳の木」として崇められてきました。万葉集には大伴家

持によつて長歌二首に「ちち」として詠まれています。いずれも防人として出てゆく子を励ましながら「母君は裳の裾をつまみ上げて息子を撫で、父君は白い髭の上に涙を流して」と別れを惜しんでいます。イチヨウの花言葉は「鎮魂 静寂 莊嚴 長寿」です。そういえば靖国神社の境内に多くのイチヨウの木が繁つており、ここ護国神社の境内にあるのも意味があります。ね。

太田 愛媛万葉苑について、他に紹介していただけのことはありませんか。

藤原 平成28年イギリス国立シエフィールド大学のトーマスマッコリー博士が、「日本の万葉植物園」植物と和歌とシリーズ」をテーマに来日されて、愛媛万葉苑に来られました。取材の記者を前に「万葉集は言葉が難しいが、植物を見て歌を読む



▲ふじばかまに止まるアサギマダラ

と説明しがたい感動がある。この万葉苑には濃い緑や蝉の声など、季節や天気によつて異なった魅力がある。大事にしてほしいものだ」と見事な日本語で語っておられました。

太田 最後に、愛媛万葉苑の管理と藤原さんが続けておられる「ミニ講座」についてお話をください。

藤原 松山市や万葉苑保存会・有志のボランティアのお世話になっています。保存会は市内の有力企業が中心です。ボランティアは毎月第2日曜の午前中、20名ばかりで管理作業をしています。当初は師友会の方などが中心でしたが、今は有志の方です。

「ミニ講座」は昼食のお弁当の後、万葉集に詠まれた植物とその歌の解説をして



▲ぬばたま(ヒオウギ)



▲ちち(イチョウ)の木 樹高30mの大木



▲くれない(ベニバナ)

太田 どうも今日は貴重な時間を頂いてありがとうございます。先輩の近藤美佐子先生から受け継いで、早いもので一五〇首の3巡目です。かれこれ30年近くになるでしょうか。

苑は昭和43年の5月5日で、記念して毎年5月5日に「万葉祭」を開催しているそうですね。

皆様もぜひ愛媛万葉苑を訪れて、万葉の花たちと出会ってみませんか。きっと万葉の植物は、ひとときのロマンと安らぎを与えてくれることでしょう。

※万葉植物の表記について「やまたつ(ニワトコ)」は、万葉名(現代名)です。



▲ねっこぐさ(オキナグサ)

山頭火・朱鱗洞の合同句碑完成

愛媛万葉苑の西、一草庵を背にして山頭火・朱鱗洞の合同句碑ができました。

句碑説明の言葉を紹介します。是非、お訪ねください。

見えない蝉しぐれの声の中に、しみじみとはつきりと心の英霊に手を合わせる、山頭火のぬかづく姿が見えてきます。

へうくくと人らすぎゆけり風の中

朱

護國神社

蝉しぐれ英霊しみじみここにゐたまふ

山頭火

種田山頭火は、行乞放浪の旅を続け終の住処を求めて松山へやって来た。来松すぐさま敬愛していた野村朱鱗洞の墓前に参ず。昭和十四年十二月十五日、一草庵庵主となる。

山頭火をして「俳壇の啄木」といわしめた朱鱗洞は、松山が生んだ自由律俳句の天才だったが、世界的大流行のスペイン風邪で大正七年十月三十一日没す。享年二十六。山頭火は、昭和十五年十月十一日コロリ往生す。享年五十九。山頭火の悲願だった朱鱗洞の句碑を、山頭火没後八十周年記念事業として建立、山頭火句と併せた合同句碑とした。

山頭火の句は、昭和十五年八月二十九日早朝、参拝の句。字は、山頭火句日記より採る。朱鱗洞の句は、遺稿句集「禮讚」身辺雑事より、大正三年の句、字は、自筆短冊より刻す。

令和三年十月三日

NPO法人まつやま山頭火倶楽部



▶ 山頭火・朱鱗洞の合同句碑

「第29回二之丸新能」開催 5月17日(火)

松山の伝統芸能、

能楽の夕べをお楽しみください。

第29回二之丸新能が、5月17日(火)に松山城二之丸史跡庭園で開催されます。

【開催日時】

令和4年5月17日(火)
18時～20時30分頃(開場17時)

【料金】

(二之丸史跡庭園入園料を含む)
一般 1,400円
市文化協会会員 1,000円

高校生以下 700円

※雨天の場合は、松山市民会館中ホールに変更、開演を18時30分に繰り下げます。

※二之丸史跡庭園、松山市民会館中ホールとも指定席となります。

【会場】

松山城二之丸史跡庭園内特設能舞台



▲前回の二之丸新能のようす

【演目】

舞囃子(宝生流) || 「紅葉狩」
舞囃子(金剛流) || 「安宅」
狂言(大藏流) || 「素袍落」
— 火入れ式 —
舞囃子(喜多流) || 「敦盛」
能 (観世流) || 「羽衣」

【招待】

松山市内の小学生とその家族を公募で無料招待します。(10組20名程度)

※新型コロナウイルス感染状況により、イベントを中止(延期)する場合があります。

【問い合わせ先】

松山市総合コミュニティセンター内
松山市文化協会

☎089(909)8008

「二之丸大茶会」開催 5/7・8

愛媛県茶道連盟松山支部に加盟する7流派のみなさんが2日間にわかれてお点前を披露します。

お茶室や新緑薫る中で開かれる野点に立ち寄つて、心豊かなひとときを過ごしませんか。

【開催日時】

令和4年5月7日(土)・8日(日)
午前10時～午後3時

【場所】

松山城二之丸史跡庭園内の各所

【料金】

お茶券 400円
※二之丸史跡庭園入園料が必要



▲前回の大茶会のようす

春季生活文化部展示会 5/7・8

松山市文化協会の生活文化部のみなさんが、丹精込めて育てた花を展示。色鮮やかな「洋蘭」は、鑑賞する方の目や心を楽しませてくれます。ぜひ足をお運びください。

【開催日時】

令和4年5月7日(土)・8日(日)
午前10時～午後4時

【場所】

松山市総合コミュニティセンター

【料金】

展示室1
観覧無料



▲前回の展示会のようす

※郷土愛媛と国際社会を考える会 FRIENDS OF THE WORLD ASSOCIATION JAPAN ※

当会は、松下文治会長を中心に広がり、1983年6月に発足。21世紀に必要とされる青少年の育成を目指しており、世界各国をまわり地球サイズの友情を広めています。2001年7月には、外務大臣表彰を受賞。

- ◇愛媛国際交流サマースクールin砥部町_海外のゲストを招き地球サイズの友情を広げるキャンプ。(1987年～)
- ◇国際交流ショパンビレッジフェスティバルin砥部町_海外のピアニストを招き国際交流の輪を広げる。(秋開催)
- ◇えひめワールドスタディー_世界に目を向けてくれる青少年の育成を目指して、えひめこどもの城や県下5市町で実施。
- ◇国際親善の旅_世界五大陸の子供達との交流を行う。1988年ザンビア共和国ケネス・D・カウンダ大統領に招待された事をきっかけにスタート。(29回実施)



国際親善の旅 ボーランド大政壇首脳にて

郷土愛媛と国際社会を考える会事務局：〒790-0045松山市余戸中2丁目7-5TEL/FAX:089-973-0245 E-mail:goodwill@fwajapan.com

小学生俳句教室

8月2日に松山市総合コミュニティセンターで、小学生を対象とした「小学生俳句教室」を開催しました。「松山俳句協会」の協力により3名の講師を迎え、俳句の基礎を学び、その場で感じたこと思ったことを俳句にし、楽しくのびのびとした句がたくさん出来ました。お友達の俳句を聞いたり、作った俳句を選んでもらうことでも嬉しそうにしています。



▲小学生俳句教室のようす

第40回美術展

感染症防止対策徹底して実施

出品作品352点展示

10月1日から10月5日までの4日間(10月4日は閉館)、松山市総合コミュニティセンター企画展示ホールで開催した美術展は、無鑑査方式により集まった作品352点を全て展示しました。

この美術展は、市内の美術愛好家の創作活動発表の場として、また市民が身近な芸術に触れる機会として定着しています。昨年に引き続き感染症防止対策を徹底して実施。

開展式は規模を縮小して開催、審査員による特別鑑賞会も二密を避けるため作品脇に評価のポイントを掲出しました。会期中は約840人の来場者があり、市民の力作に見入っていました。



▲第40回美術展

第40回芸術祭

音楽、舞踊、芸能部門の

41団体約1500人来場

10月17日と24日の両日、松山市民会館大ホールで、協会に加盟する音楽・舞踊・芸能部門の団体による芸術祭を開催しました。41団体約500人が日頃の研鑽の成果を発表しました。感染症防止対策をした会場には、両日を合わせて約1,500人が来場。演目が終わるたびに、出演者に大きな拍手が送られていました。

また、恒例の「抽選会」は、指定席番号を抽選券として、1等のみ会場で抽選。残りは後日実施し、当選結果はホームページで発表とともに当選者に景品を発送しました。



▲第40回芸術祭

秋季生活文化部展示会

11月6日・7日に、松山市総合コミュニティセンター・コミュニティプラザで、「日本盆栽協会 松山支部」、「松山つばき会」、「愛媛バラ会」、「八石之会」、「公益社団法人全日本きものコンサルタント協会愛媛県」、「伊予拓本研究会」の各会員による作品展示を開催しました。

盆栽5点、つばき37点、バラ57点、水石10点、帯結び10点、拓本15点が展示され、いずれも劣らぬ見事な出来栄に、多くの来場者が見入っていました。



▲秋季生活文化部展示会のようす

【松山の歴史】 (その二)

明治六年廢城令と松山城

伊予史談会副会長

柚山 俊夫

前回は、「廢藩置県二五〇年」というテーマで述べました。伊予国の八藩を八県にした廢藩置県に続く、明治維新後の変革のなかで、松山にとって大きな事件の一つといえるものに、明治六（一八七二）年に出された廢城令があります。

廢城令は、政府が、城郭を必要なものとそうでないものに分けることを命じたもので、明治六年一月、太政官から、必要な城郭は陸軍省が軍用として「存城」すること、必要でない城郭は大蔵省が担当して取り壊し建物を売却し「廢城」とするなど、処分命令が下されました。

これを受けて、同年二月、陸軍省と大蔵省からそれぞれ府県に対し、城郭の取り扱いは指し、軍用として残す「存城」となる城郭のリストが付けられています。それらを眺むと、現在、全国に十二ある、江戸時代に建てられた天守（現存十二天守）といいますが、残る城郭のうち、松本城彦根城・姫路城・松江城・丸亀城・宇和島城の六つが「存城」リストにあります。

伊予国では、宇和島城以外の、松山城など七つの城郭・陣屋は「存城」リストにありませんので、「廢城」になりました。大蔵省が担当となり、県に対して、城郭・陣屋・練兵場その他軍事施設の面積や建物や樹木など、払い下げできる財産を調べるよう、

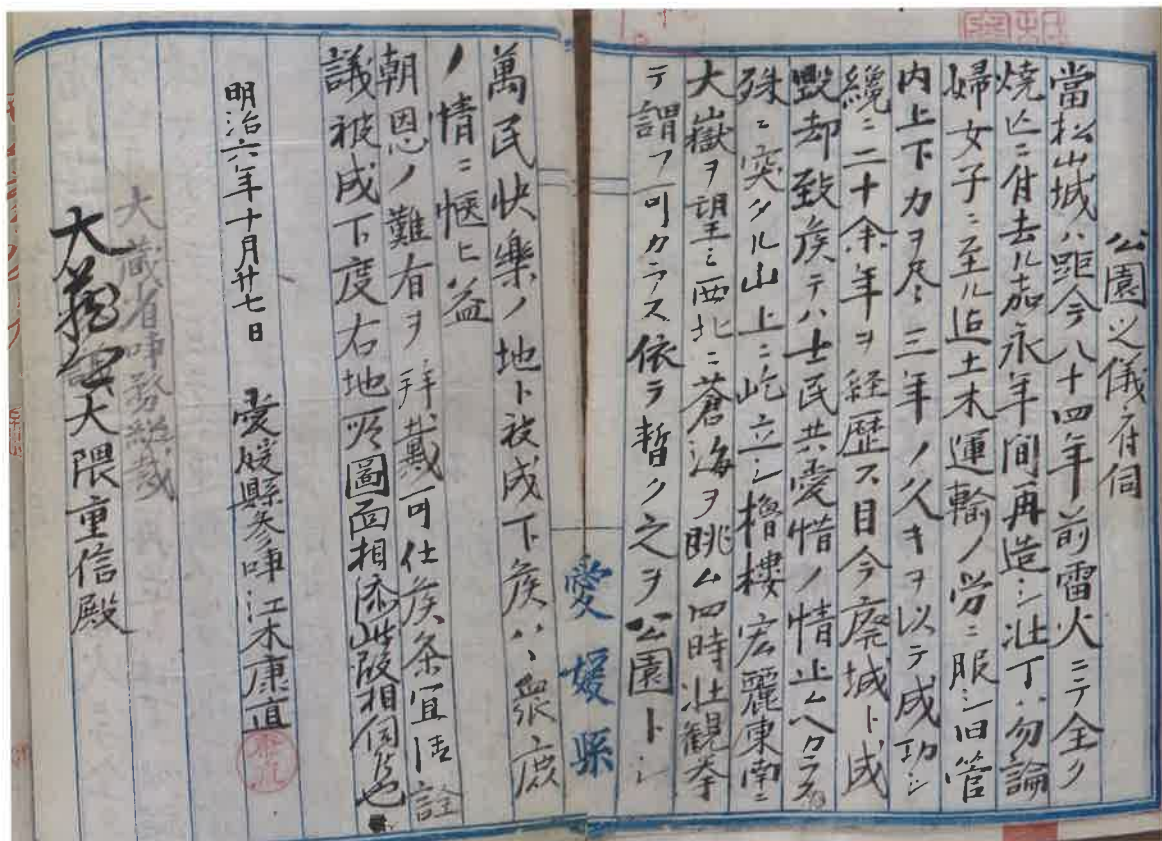
指令がなされました。ゆくゆくは、城郭の建物を払い下げて国庫収入に充てようとしたのです。

松山城を取り壊す政府の方針が示されたわけですが、松山城を守るために、当時のような対応がなされたのでしょうか。

明治六年一〇月、県は大蔵卿大隈重信に対して、「公園の儀につき伺い」を提出しました。この伺い書では、松山城天守が八四年前の雷により焼失したが、嘉永年間（一八二四～一八三〇）に、壯丁はもちろんならぬ婦女子に至るまで、土木・運輸の労に服し、松山藩内の者は身分の高下を問わず皆が力を尽くし、三年の久しきをもつて完成させたもので、再建からわずか二〇年余りしか経過しておらず、取り壊しは「士民とも愛惜の情やむべからず」と訴えています。そして松山城は、「山上に屹立し櫓楼宏麗、東南に大嶽を望み、西北に蒼海を眺めることができ、どの季節も壯観であるので、公園にして楽しみたいと願っています」。

この伺い書に対して、十一月大蔵省租税寮の松方正義から、修復費用や維持費用をどうするか、問われています。これに対しては、松山市内富豪の拠金による維持を提案するなどして、とうとう松山城を公園として存続させることを政府に認めさせたのです。

二神將氏は、この伺い書は、当時県庁に



▲愛媛県から大蔵卿に宛てた「公園の儀につき伺い」の原本



▲松山城の天守

勤めていた伊佐庭如矢が起案したものとされています。おそらくは、松山城と同じく「存城」リストから外れた高知城が、同年四月、公園にすることで廃城を免れたことを伊佐庭如矢が知って、一〇月に高知城と同じく公園化を提案したものと想定できるでしょう。

現在、西条陣屋跡や新谷陣屋跡は学校に、吉田陣屋跡は図書館になっています。今治城や大洲城、宇和島城は、松山城と同じく公園として存続しています。これらの城郭や陣屋がどういう経緯をたどったかを記録した、調査や払い下げに関する文書が愛媛県立図書館に保存されています。

柚山先生のプロフィール
 柚山 俊夫(ゆやまとしお)
 ●一九六一年今治市菊間町生まれ
 ●愛媛大学を卒業、県立高校や県生涯学習センターでの勤務を経て現在、伊予高校
 教諭

また、県歴史文化博物館の平井誠学芸員が、大洲城天守の取り壊しの時期が明治二年だったことを明らかにするなど、廃城の調査研究を精力的に進めています。「存城」リストにない城郭がなぜ残されたか、調べてみるとおもしろそうです。

未来



すべてはお客さまのために
 未来へと進むみなさまを
 支え、応援し続けて
 ふるさとのみなさまと
 これからも、ずっと。

 愛媛銀行

フラメンコスタジオラペルラ

今回のクラブ訪問は、「フラメンコスタジオラペルラ」をご紹介します。
講師の竹村あゆみさんにお話しをうかがいました。

■クラブはいつ発足？

2020年7月に発足しました。生徒は20人、講師が4人おります。初級と上級者2つのクラスに分かれています。毎週1回、60分のレッスンです。

■フラメンコとは？

フラメンコは、人の心の怒り、寂しさ、悲しみなど様々な心の動きを踊りと歌とギターで表現する芸能です。

2017年「スペイン ロンダ国際コンクール」で日本人初優勝したSIROCOさんに、月1回教室にきていただいで直接指導受けています。生徒の皆さんに、フラメンコを楽しんでもらうということを何よりも大切にしていきます。

■ペルラの意味は？

スペイン語で真珠です。真珠は長い時間をかけて美しい輝きとフォルムをうみだします。私たちのフラメンコも真珠のように美しく輝くようにしたいと持っています。



▲レッスン風景



▲水曜日クラスのみなさん



講師 竹村 あゆみさん

問い合わせ先

フラメンコスタジオラペルラ

講師 竹村 あゆみ

080(6379)3369

Hula Makahou

今回のクラブ訪問は、「Hula Makahou」をご紹介します。
代表の杉原早苗さんにお話しをうかがいました。

■クラブの発足は？

2020年9月に会員10人でスタートしました。今は15人です。月曜と木曜日に1時間から1時間半のレッスンを行っています。

フラは音楽に合わせて踊りますが、花や風、雨などの自然に例えて、人間の心や感情を表現するラブソングが多いですね。

■どんなご指導を？

みなさんの個性を大切にしています。仲間と共に踊るとで明るく元気になるように指導します。心を合わせて踊るといのは、美しいものです。

仲間から愛をいただいで、その愛をお友達にお返しするという気持ちです。このような優しい心は、日常生活にもつながると思います。ですからレッスンの中で、まずは、自然な笑顔を表現することを、学んでいただいでいます。

■今後のご予定は？

4月30日と、5月1日に開催予定の「アロハエハーフェスティバル」というフラの大会を目指して、レッスンに励んでいます。



▲レッスンに励む生徒さん



▲生徒さんがイイ笑顔を見せてくれました



代表 杉原 早苗さん

問い合わせ先

「Hula Makahou」

代表 杉原 早苗

090(1577)9683

HULAKUMI-EMA

今回のクラブ訪問は、「HULA KUMI-EMA」をご紹介します。
代表の山先恵麻さんにお話しをうかがいました。

■クラブはいつから？

フラを始めて10年になります。クラブ員5人でスタートしました。今9人になっています。文化協会には2021年に入会しました。レッスンは1週間に1回90分〜120分行っています。

■フラの魅力は？

初めてフラと出会ったときは、本当に感動しました。華やかで、美しく心から魅了されました。以後、フラが私の人生の半分を占めていると言っても言い過ぎではないくらいです。

足(ステップ)、腕、指、視線(眼差し)まで、身体すべてを使って、自然や人の心、感情を表現します。

レッスンでは、その表現力を磨くことを学んでもらっています。生徒には、日常を離れて、女優になりなさいと教えます。頂上というのはありませんが、楽しく、よりよいフラをめざして、一生懸命に踊りつづけることが、大切だと思います。

■今年のご予定は？

コロナ禍の状態を見ながらですが、様々なフェスティバルや芸術祭に参加を予定しています。



▲ポーズをとって笑顔の山先先生を生徒さん



▲3人の笑顔からもフラを心から楽しんでいる様子が伝わってきます



代表 山先 恵麻さん

問い合わせ先

「HULAKUMI-EMA」

代表 山先 恵麻

090(7148)7521

子規交交 —しきこもごも—

◎第二回 『子規庵を訪れた海軍軍人』

坂の上の雲ミュージアム学芸員
子規庵 宇宙の会 会員

上田 一樹

正岡子規の終の棲家となった東京根岸の子規庵には、たくさんの人が訪れた。隣家の陸羯南(子規が勤める日本新聞社の社長兼主筆)をはじめ、夏目漱石や森鷗外、河東碧梧桐や高浜虚子、伊藤左千夫や長塚節など、枚挙に遑かない。その多くは文学仲間や新聞社の同僚、郷里の友人などであるが、今回は、かれらと趣を異にする訪問者を紹介したい。

明治三十(一八九七)年一月、一人の海軍軍人が子規庵を訪れた。子規の友人で海軍軍人という、小説『坂の上の雲』の主人公のひとりである秋山真之がまず想起されるが、ふたりの交友についてはまたの機会に取り上げたいと思う。

さて、その海軍軍人の名は、瓜生外吉(うりけい げい)という。瓜生は安政四(一八五七)年、加賀国(石川県)生まれ。子規より十歳年長。明治五年に海軍兵学校に入り、同八年にアメリカへ留学。アナポリス海軍兵学校に学んだ。留学中、同じく留学生として津田梅子や山川捨松らと渡米していた永井繁子(のちの三井物産社長、益田孝の妹)と知り合い、帰国後に結婚。海軍きつてのアメリカ通として知られた。

子規は明治三十年一月十五日、叔父の大原恒徳にあてた書簡の中で、同十二日に瓜生が子規庵を訪れたことを記している。一部を引く。

拜啓仕候 去る十二日瓜生外吉と

申人來られ候 同氏は三年程仏国公使館に滞在の趣にて加藤叔父様よりの御伝言(尤もげん)気で居ると許り)をもたらし候者に御座候 私

臥褥中といひ殊に俳句会の当日にてしみし話も不出來残念仕候 此人は海軍の少佐(?)にて公使館附の人なりしかと想像致候 宅は小家より二町許り隔たりたる処故近日心持善き日に出掛可申と存候 同

氏は昨年十二月二十二(此処に附箋あり「十一月なるべし」と)日頃マルセイユ解纜にて本年一月一日帰朝の由に御座候 同氏の話によれば公使は佐藤書記官を従へて葡国に赴き条約改正談判中にて従て公使館には叔父様御一人にて御留守の由に御座候さて外務省よりは代りの行く迄待てと訓令ありし由なればまだいつ御出発ともきまらぬやうすに御座候

(後略)

書簡には、子規の叔父加藤拓川(当時フランス公使館一等書記官)からの伝言を、瓜生が預かつてきたことが記されている。子規は「海軍の少佐(?)にて公使館附の人なりしか」と予想しているが、瓜生は明治二十五年九月からおよそ四年間、駐仏公使館附武官を務め、マルセイユから同三十年一月一日に帰国したばかりであった。なお、当時の瓜生の階級は少佐ではなく

大佐である。子規は当日、句会のためあまり話が出来なかつたようだが、瓜生は拓川が息災であることを伝え、さらに曾禰荒助仏国公使が佐藤愛鷹書記官を伴い、ポルトガルとの条約改正交渉に臨んでいるため、拓川が独り公使館で留守番をしており、帰国の目途が立たないことなど、貴重な情報をもたらしている。鶴崎熊吉編著『薩の海軍・長の陸軍』(明治四十四年、政教社)によると、瓜生は文官的で几帳面な性格だったようで、短い時間ながら、子規に拓川や仏国公使館の現況を細やかに語つたのであろう。



瓜生 外吉
(『JAPAN'S FIGHT FOR FREEDOM』より)

また、瓜生邸は子規庵の近くにあつた

ようだ。和田克司編著『子規の一生』(平成十五年、増進会)によると、瓜生の住所は上根岸四十八番地。同八十二番地の子規庵からは「二町許り」(二百メートルあまり)であり、「近日心持善き日に出掛可申」と子規は記している。ただ、講談社版『子規全集』の年譜等を調べてみたが、子規が瓜生邸を訪問した形跡は見られなかつた。この頃から悪化した脊椎カリエス

の影響もあつたのだろうか。ちなみに、拓川は明治三十年一月二十六日の日葡通商航海条約調印後、帰国する運びとなり、同三月にパリを経て翌月横浜に到着、秋山好古らの出迎えを受けた。

瓜生はその後、「秋津洲」「扶桑」艦長や軍令部第一局長などを歴任。子規没二年後の同三十七年に始まつた日露戦争では、上村彦之丞率いる第二艦隊の司令官となり、巡洋艦編制の第四艦隊を指揮する。瓜生は開戦時の仁川沖海戦で大きな戦功を挙げ、日本海海戦でも強大なバルチック艦隊を相手に奮戦した。この時、真之は連合艦隊参謀として、東郷平八郎司令長官と旗艦「三笠」に乗艦しており、瓜生と真之は同じ戦場で日本の存亡をかけた大海戦に臨んだのであつた。

かれらの活躍については、坂の上の雲ミュージアム第十五回企画展『坂の上の雲』にみる日本海海戦―「運命の海」をぜひご覧いただきたい。

瓜生の話は、子規にとつてきわめて新鮮であつたらう。多くの人々の訪問は、子規の暮らした彩りと活力を与え、時に病と闘うかれの生命を繋ぎ止めた。子規がもう少し生きていれば、瓜生・真之と三人で話す機会があつたかもしれない。ふたりの欧米での体験談や息詰まる日露海戦の攻防などを、子規はきつと、目を輝かせながら聴いたに違いない。

坂の上の雲ミュージアム 第15回企画展テーマ展示
『坂の上の雲』にみる日本海海戦
—「運命の海」—

一九〇五(明治三十八)年五月二十七日、二十八日の日本海海戦で、日本の連合艦隊はロシアのバルチック艦隊と戦いました。この海戦での圧倒的な勝利は、日本海の制海権を確実なものにしただけでなく、日露戦争そのものの戦局を有利に導くことになりました。日露開戦当初から戦力で勝るロシア海軍に、日本海軍はどのように立ち向かったのでしょうか。小説『坂の上の雲』で日本海海戦を描いた「運命の海」の章を軸に、日露海軍の戦いの様相をみていきます。



第15回企画展テーマ展示
『坂の上の雲』にみる日本海海戦
運命の海

戦力で勝るロシア海軍と日本はいかに戦ったのか。
世界戦史に例のない大海戦がはじまる。

2022年2月22日(火) - 2023年2月12日(日)

坂の上の雲ミュージアム
SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

〒790-0841 愛媛県松山市番町三丁目20番地

会 期：令和4年2月22日(火)～令和5年2月12日(日)

休 館 日：月曜日(休日の場合は開館)

開館時間：午前9時～午後6時30分(入館は午後6時まで)

観 覧 料：一般400円、高校生200円、高齢者(65歳以上)200円

中学生以下無料 ※20名以上の団体割引あり

場 所：坂の上の雲ミュージアム(松山市一番町三丁目20番地)

お問い合わせ：坂の上の雲ミュージアム 089(915)2600

※新型コロナウイルスの感染状況により、臨時休館の場合があります

 伊予銀行

銀行を、
人に合うかたちへ
変えていく。

**Better Money,
Better Life.**

AGENT

HOME

SAFETY

LIFE
PALETTE

